

静岡県月例経済報告

(平成30年11月号)

……平成30年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 511

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年9月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きが強まっている。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(9月)は、百貨店が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパーが2か月ぶりに前年実績を上回った。総額では、9か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(9月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストアがいずれも4か月連続、ドラッグストアが19か月連続、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(9月)は、乗用車が12か月連続、軽自動車が6か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総数でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(9月)は、貸家が2か月連続で前年実績を下回ったものの、持家が2か月ぶり、分譲住宅が3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(9月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きが強まっている」

日銀短観(平成30年10月1日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(9月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、持ち直しの動きがみられる」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（9月）は、二輪自動車類が8か月連続、科学光学機器が3か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機、エアコンがいずれも4か月連続、自動車が3か月ぶり、自動車の部分品が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（9月）は、魚介類及び同調製品が3か月連続、木材が2か月連続、パルプが11か月ぶり、原動機が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品が3か月ぶり、自動車の部分品が6か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,077億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（8月）は、はん用・生産用・業務用機械が10か月連続、輸送機械が4か月ぶり、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。また、3か月連続で前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（8月）は、総合では11か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（9月）は1.70倍で、前月と同水準だった。また、56か月連続で1倍を上回った。なお、19か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（9月）は、62か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（8月）は、9か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（9月）は、前年同月比 1.5%減と前年実績を下回った。

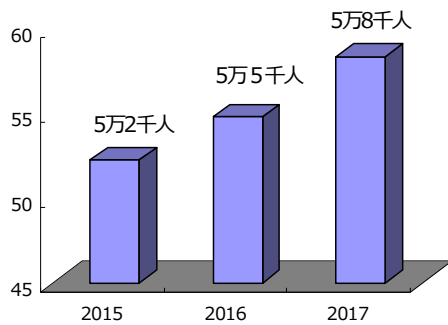
信用保証協会保証金額（9月）は、前年同月比 3.5%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産（10月）は、件数は20件（前年同月比 13.0%減）と、前年実績を下回り、負債総額は35億8,700万円（同 1.2%増）と、前年実績を上回った。

<トピックス> イスラム教の食文化「ハラール」への対応

1 本県におけるムスリムの現状



ASEAN主要3カ国からの静岡県訪問者数
(インドネシア・マレーシア・シンガポール) 出典：日本政府観光局

近年、訪日ムスリムが急増し、2017年は本県にも約58,000人が来訪しています。

2017年11月、本県とインドネシア西ジャワ州との間で「教育とビジネスに関する覚書」を締結し、今後、さらなる交流の活発化が見込まれるため、豚肉やアルコールを口にしないなどのイスラム教の食文化「ハラール」への対応が求められています。

2 県の取組

「富士山静岡空港のムスリム対応の推進」

今年10月30日に新国際線ターミナルエリアをオープンし、ムスリムも利用可能な礼拝室を設置したほか、静岡ムスリム協会の監修により、ターミナル内の食堂においてハラール食に対応したメニューの提供や原材料の絵文字表記を予定しています。

「県内のハラール対応飲食店の情報発信」



今年10月29日に県内のハラール対応飲食店の情報を発信するウェブサイト「ハラール・ポータル」を開設しました。現在、31店舗が登録し、公開準備中のものを含めて26店舗を掲載しています。

さらに、年度内にはインドネシア語、アラビア語への対応や、飲食店周辺の礼拝施設、観光施設の情報を追加するなど、さらなる充実を図っていきます。

「ハラールに取り組む料理人や企業の表彰」



今年度、「食の都」づくりに関する県の表彰審査基準を改正し、「多様な食文化に対応した料理の提供への取組実績」等を評価することで、県内における料理人や企業等のハラールの取組を促進します。

3 国内外から人々を惹きつけ憧れを集める、「ふじのくに「食の都」づくり」

今後も、県は訪日或いは居住されるムスリムの皆様などに安心して本県の農芸品、食を楽しんでいただける環境整備に一層注力し、国内外から人々を惹きつけ憧れを集める「ふじのくに「食の都」づくり」を推進していきます。

「ふじのくに「食の都」づくり」とは

県は、多彩で高品質な農林水産物が生産される「食材の王国」という場の力を活かし、国内外の憧れを惹きつける「食の都しずおか」を実現するため、食の都づくりの推進役を担う人材の育成や、地域ごとの取組促進（地域づくり）、産業振興・ブランド化の推進、多様な食文化への対応、県民への意識啓発・情報発信などに取り組んでいます。

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

9月 = 32,358百万円

*前年同月比： 3.0%増

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は32,358百万円で、前年同月比 3.0%増となり、9か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 0.2%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパー（同 3.8%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 0.7%減）、身の回り品（同 3.2%減）がいずれも3か月連続、家庭用品（同 1.5%減）が12か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 4.8%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.7%増と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	30,823	33,271	32,240	32,970	33,375	35,213	33,855	32,358
前年同月比(%)	▲0.4	▲2.8	▲2.8	▲3.6	▲0.1	▲1.1	0.0	3.0
うち百貨店(%)	▲1.7	▲2.5	▲2.7	▲6.0	2.1	▲7.5	1.9	▲0.2
スーパー(%)	0.0	▲2.9	▲2.9	▲3.0	▲0.6	0.6	▲0.4	3.8
(参考1)全国前年同月比(%)	0.6	0.1	▲0.8	▲2.0	1.5	▲1.6	▲0.1	0.4
うち百貨店(%)	0.3	0.9	1.5	▲1.2	4.0	▲5.1	0.6	▲2.6
スーパー(%)	0.7	▲0.4	▲1.8	▲2.4	0.3	0.3	▲0.4	1.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.8	▲1.5	▲2.4	▲3.1	0.3	▲1.9	▲0.4	2.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	▲0.8	▲1.3	▲2.8	▲6.3	0.4	▲7.8	▲1.5	▲0.7
うち紳士服・洋品	▲3.5	▲5.0	▲0.3	▲10.3	▲2.3	▲6.0	▲3.2	▲1.0
婦人・子供服・洋品	0.9	1.0	▲3.4	▲4.7	2.3	▲8.1	▲1.8	▲1.0
身の回り品	2.0	▲3.8	▲7.4	▲2.6	1.4	▲6.9	▲0.2	▲3.2
飲食料品	▲0.3	▲2.2	▲2.7	▲2.9	0.0	1.0	0.7	4.8
家庭用品	▲2.8	▲4.1	▲5.4	▲1.7	▲6.1	▲8.5	▲6.6	▲1.5
うち家庭用電気機械器具	▲6.9	3.5	1.7	9.0	17.5	6.7	▲1.4	10.8

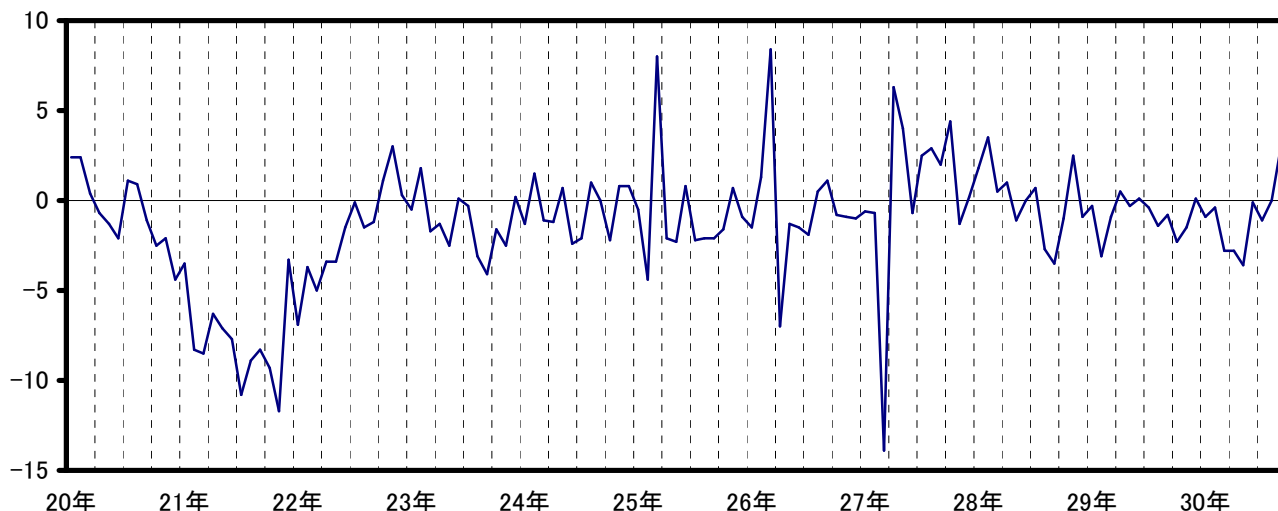
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

9月 = 66,929百万円

*前年同月比： 5.1%増

(県内95家電大型専門店、1,691コンビニエンスストア、481ドラッグストア、103ホームセンター合計)

<概況>

9月の専門量販店等販売額は66,929百万円で、前年同月比 5.1%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 10.8%増）、コンビニエンスストア（同 3.6%増）がいずれも4か月連続、ドラッグストア（同 6.4%増）が19か月連続、ホームセンター（同 1.4%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	58,880	68,567	66,761	67,364	66,876	76,985	72,295	66,929
前年同月比(%)	2.3	1.8	3.0	▲ 0.8	3.1	2.7	1.9	5.1
うち 家電大型専門店(%)	4.7	▲ 0.2	2.3	▲ 0.6	9.8	4.1	2.7	10.8
コンビニエンスストア(%)	▲ 0.1	1.1	1.2	▲ 1.2	0.9	0.6	1.0	3.6
ドラッグストア(%)	6.1	4.3	7.4	3.1	4.9	6.9	4.3	6.4
ホームセンター(%)	▲ 0.7	0.8	▲ 0.2	▲ 7.6	0.1	▲ 1.0	▲ 1.0	1.4
(参考)全国前年同月比(%)	2.9	3.4	3.0	0.3	3.9	1.7	1.8	4.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

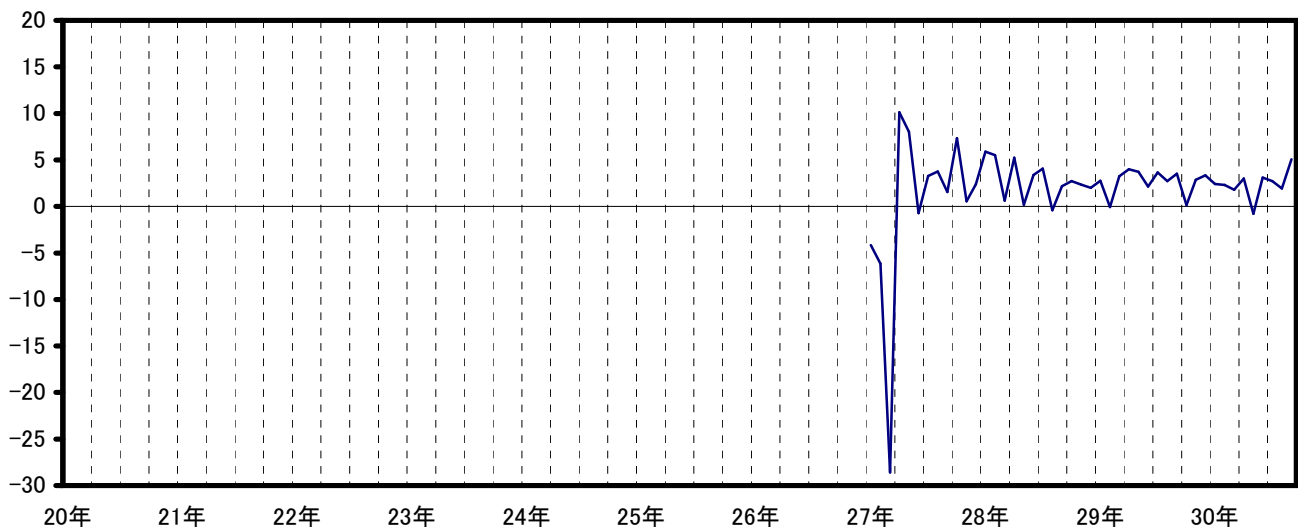
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

9月 = 16,766 台

*前年同月比： 2.3%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は16,766台(前年同月比 2.3%減)と、3か月ぶりに前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 3.1%減)が12か月連続、軽自動車(同 1.2%減)が6か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	17,887	23,209	11,883	12,332	15,629	14,618	12,013	16,766
前年同月比(%)	▲0.1	▲4.9	1.0	▲0.5	▲3.0	2.4	1.9	▲2.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.8	▲3.6	2.6	▲1.5	▲5.3	3.3	4.0	▲3.3

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

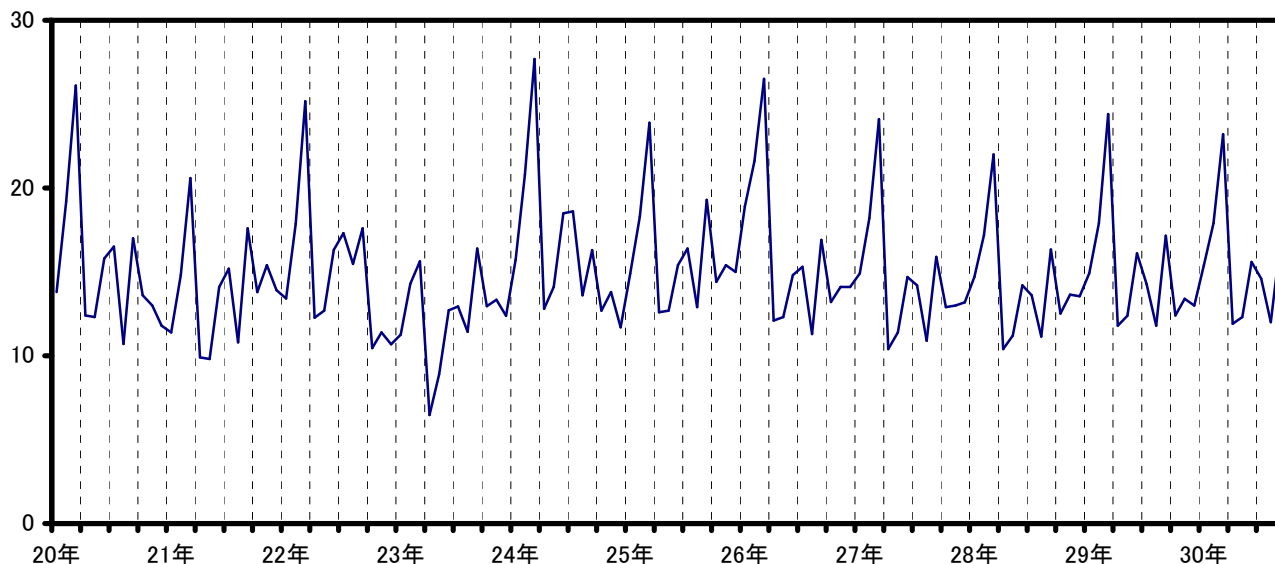
	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全乗用車	▲0.1	▲4.9	1.0	▲0.5	▲3.0	2.4	1.9	▲2.3
乗用車	▲1.5	▲7.7	▲2.7	▲1.4	▲9.0	▲0.4	▲3.0	▲3.1
軽自動車	1.7	▲0.9	5.6	0.8	6.2	6.0	8.7	▲1.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

9月 = 1,908 戸

*前年同月比： 1.6%増

<概況>

9月の新設住宅着工戸数は1,908戸で、前年同月比 1.6%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 10.2%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、持家（同 4.7%増）が2か月ぶり、分譲住宅（同 36.4%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

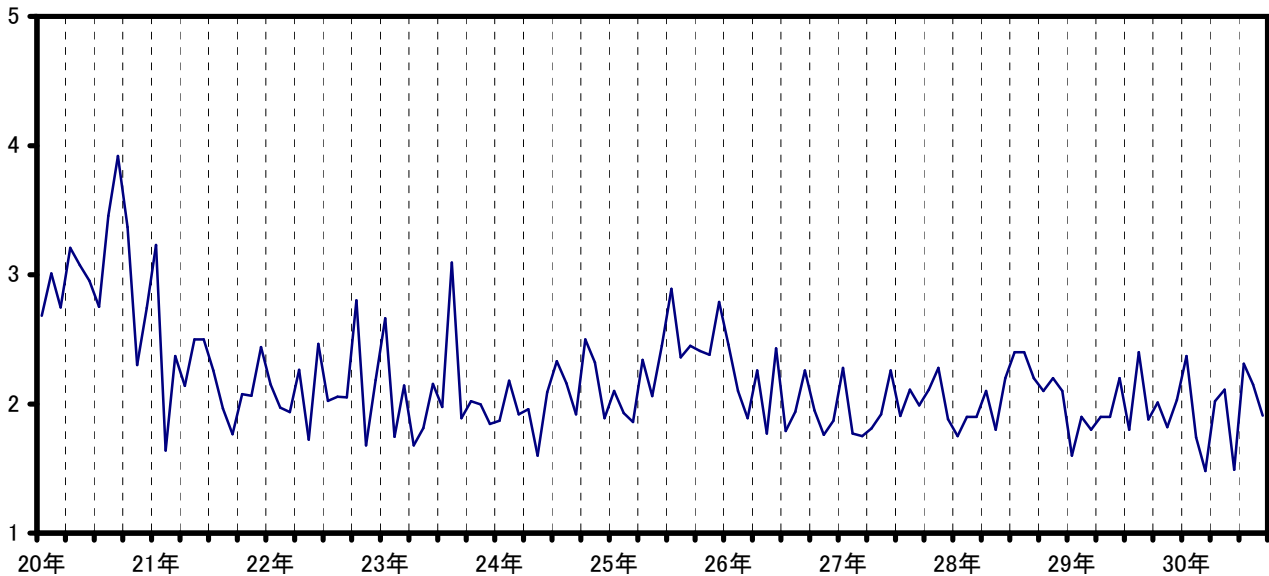
	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸数（戸）	1,742	1,483	2,015	2,108	1,489	2,309	2,152	1,908
前年同月比（%）	▲ 9.8	▲ 17.9	7.0	8.8	▲ 32.6	25.6	▲ 9.8	1.6
うち持家（%）	▲ 24.3	▲ 3.4	5.3	4.5	▲ 25.4	4.1	▲ 1.9	4.7
貸家（%）	▲ 7.9	▲ 22.9	8.6	9.0	▲ 46.7	70.1	▲ 26.8	▲ 10.2
分譲住宅（%）	35.3	▲ 37.2	11.1	21.8	▲ 23.2	30.9	7.2	36.4
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 2.6	▲ 8.3	0.3	1.3	▲ 7.1	▲ 0.7	1.6	▲ 1.5

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

9月 = 41,187百万円

*前年同月比： 9.9%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

9月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は41,187百万円で、前年同月比9.9%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は1,185件で、前年同月比13.6%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額(百万円)	8,327	16,358	61,467	30,683	30,461	29,729	28,357	41,187
前年同月比(%)	▲33.2	1.7	11.6	53.1	▲6.8	9.9	16.8	▲9.9
年度累計前年同月比(%)	▲0.8	▲0.7	11.6	22.6	13.7	12.9	13.5	8.3
件数(件)	185	195	586	564	707	872	857	1,185
前年同月比(%)	▲42.4	▲17.0	18.4	20.8	▲1.9	17.0	8.2	▲13.6
年度累計前年同月比(%)	▲3.4	▲3.8	18.4	19.5	10.3	12.4	11.4	3.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位: %)

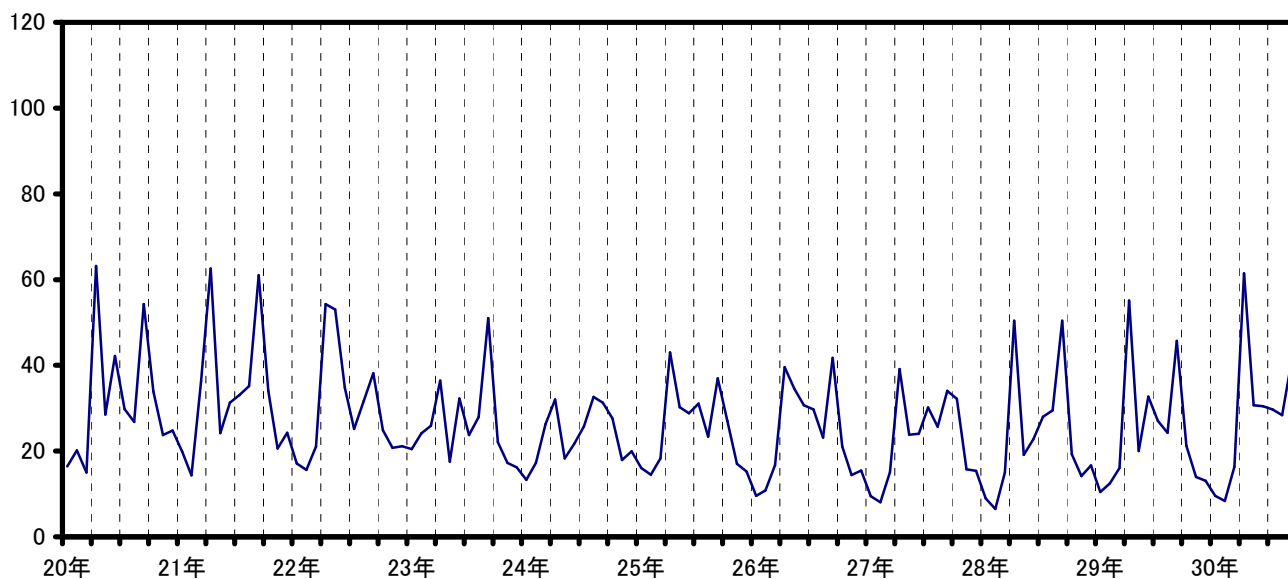
	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	▲35.2	▲44.9	9.2	122.3	113.4	129.5	▲0.8	▲54.8
独立行政法人等	758.0	1,746.6	▲8.5	61.9	▲65.3	488.7	▲35.1	238.5
県	▲73.7	▲23.0	▲2.0	8.7	4.3	45.6	20.6	▲12.0
市町	▲29.6	54.2	70.0	13.6	▲17.3	0.2	21.1	▲16.2
地方公社	—	—	204.5	1,292.4	—	▲95.2	▲91.5	▲32.1
その他	389.1	▲96.0	▲5.1	—	2.8	▲76.8	106.3	▲59.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 13.5%増）、非製造業（同 10.6%増）、全産業（同 12.1%増）の全てにおいて増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 14.2%増）、非製造業（同 10.6%増）、全産業（同 13.2%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は236,654㎡で、前年同月比 187.3%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	2.8	(5.3) 12.1
	全国	4.4	(0.6) 8.5
製造業	県	3.2	(1.1) 13.5
	全国	6.3	(0.5) 16.5
非製造業	県	2.3	(10.8) 10.6
	全国	3.4	(0.7) 4.0

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	5.3	(2.0) 13.2
	全国	4.6	(0.1) 9.2
製造業	県	6.8	(▲0.1) 14.2
	全国	4.4	(▲0.1) 10.9
非製造業	県	1.4	(8.7) 10.6
	全国	4.8	(0.2) 7.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年9月調査)」

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	123,341	63,422	162,014	179,797	136,094	284,663	153,769	236,654
前年同月比（%）	49.6	▲ 28.9	8.1	24.0	▲ 22.8	142.5	17.2	187.3
(参考) 全国前年同月比（%）	0.4	17.5	0.5	▲ 6.8	▲ 5.0	8.8	▲ 10.9	▲ 7.3

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		30年6月	30年9月	30年12月 (予測)
全産業		14	14	8
	製造業	15	20	12
	非製造業	13	9	6
(参考) 全国・全産業		16	15	12

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年9月調査)」

5 輸出

9月 = 192,350百万円

*前年同月比： 9.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は192,350百万円で、前年同月比 9.3%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比 19.2%減）が8か月連続、科学光学機器（同 14.8%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 29.1%増）、エアコン（同 2.2%増）がいずれも4か月連続、自動車（同 33.3%増）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 12.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 9.1%増）が7か月連続、米国向け（同 2.5%増）が2か月連続、EU向け（同 25.0%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額(百万円)	174,327	187,025	188,363	158,117	193,158	182,834	174,267	192,350
前年同月比(%)	▲4.7	▲5.1	▲1.8	5.6	10.4	▲1.1	1.7	9.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原動機	13.8	▲6.9	▲1.7	▲5.9	6.0	1.0	11.8	29.1
エアコン	▲21.4	18.4	21.2	▲3.6	32.1	12.6	10.4	2.2
自動車	▲2.1	▲54.4	14.7	192.2	8.0	▲19.3	▲23.3	33.3
自動車の部分品	▲14.5	▲6.2	▲9.0	0.5	11.6	7.7	0.0	12.1
二輪自動車類	▲22.9	▲21.8	▲18.6	▲37.3	▲12.6	▲20.4	▲27.8	▲19.2
科学光学機器	▲9.0	▲2.4	▲1.6	43.5	10.8	▲4.2	▲18.9	▲14.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	▲8.2	1.2	0.1	5.1	18.5	7.6	2.8	9.1
米国	▲0.1	▲2.4	▲9.0	▲7.5	9.2	▲8.2	14.7	2.5
EU	▲9.7	▲20.1	▲2.4	17.4	▲16.0	▲13.8	▲15.8	25.0

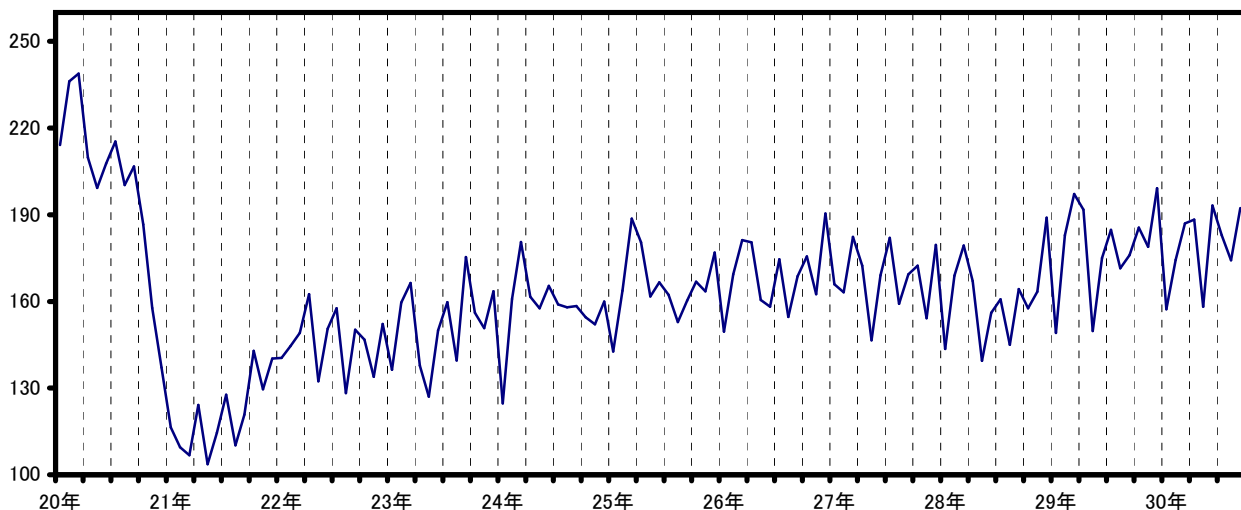
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

9月 = 84,664百万円

*前年同月比： 1.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は84,664百万円で、前年同月比 1.2%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 15.5%減）が3か月連続、木材（同 21.5%減）が2か月連続、パルプ（同 24.0%減）が11か月ぶり、原動機（同 21.0%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品（同 9.4%増）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 33.2%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 5.7%減）が6か月ぶり、米国から（同 19.9%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、EUから（同 2.0%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額(百万円)	85,331	78,836	93,691	97,600	87,832	96,108	89,371	84,664
前年同月比(%)	18.6	▲ 13.0	18.9	21.5	4.9	17.0	4.6	1.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類及び同調製品	▲ 6.2	▲ 13.1	34.0	30.9	2.9	▲ 5.8	▲ 8.4	▲ 15.5
木材	7.9	5.5	10.7	13.5	▲ 1.7	23.4	▲ 6.0	▲ 21.5
パルプ	43.2	23.2	24.7	18.4	8.3	47.4	6.5	▲ 24.0
紙類及び同製品	4.2	▲ 4.1	▲ 2.6	44.8	35.3	▲ 5.4	▲ 19.3	9.4
原動機	▲ 67.3	▲ 21.4	▲ 27.6	109.2	8.7	3.5	51.7	▲ 21.0
自動車の部分品	27.1	▲ 20.7	10.0	7.9	24.6	48.9	13.9	33.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

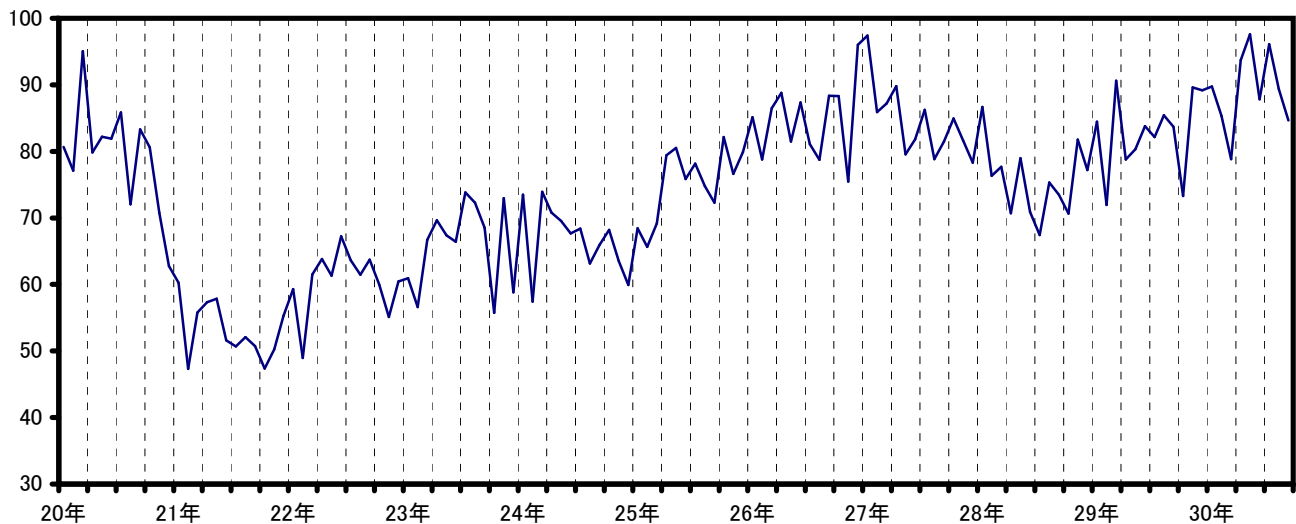
	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	21.8	▲ 11.8	11.2	27.6	1.9	19.9	8.7	▲ 5.7
米国	▲ 15.7	▲ 3.9	▲ 5.7	12.3	▲ 6.7	8.4	21.8	▲ 19.9
EU	▲ 23.6	4.9	20.0	10.1	▲ 1.5	3.9	14.2	2.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

8月 = 94.4

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.4%増

*前年同月比(原指数) : 1.1%増

<概況>

8月の鉱工業生産指数(総合)は94.4(季節調整済指数)で、前月比1.4%増と、3か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は1.1%増と、2か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比4.2%減)が10か月連続、輸送機械(同2.8%減)が4か月ぶり、食料品・たばこ(同3.3%減)が4か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同6.2%増)、化学(同9.0%増)、パルプ・紙・紙加工品(同0.1%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	90.6	92.4	92.1	92.8	91.8	92.9	93.1	94.4
前月比(%)	▲4.9	2.0	▲0.3	0.8	▲1.1	1.2	0.2	1.4
前年同月比(%)	▲1.2	▲1.8	▲3.7	▲0.2	0.0	▲1.9	2.4	1.1
(参考)全国前年同月比(%)	2.7	1.4	2.2	2.5	4.2	▲1.2	2.3	0.6

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲10.2	▲4.2	▲8.6	▲2.4	▲13.2	▲11.0	▲11.0	▲4.2
電気機械工業	▲3.2	1.6	3.8	1.1	▲3.1	▲7.8	5.0	6.2
輸送機械工業	▲1.6	▲8.2	▲10.3	▲4.6	0.8	3.2	6.8	▲2.8
化学工業	0.8	▲0.7	2.7	▲1.9	9.1	▲2.3	4.6	9.0
パルプ・紙・紙加工品工業	2.2	▲2.7	0.7	▲1.9	0.5	▲1.3	1.3	0.1
食料品・たばこ工業	▲2.3	7.2	▲2.2	10.5	▲4.2	▲0.4	▲2.7	▲3.3

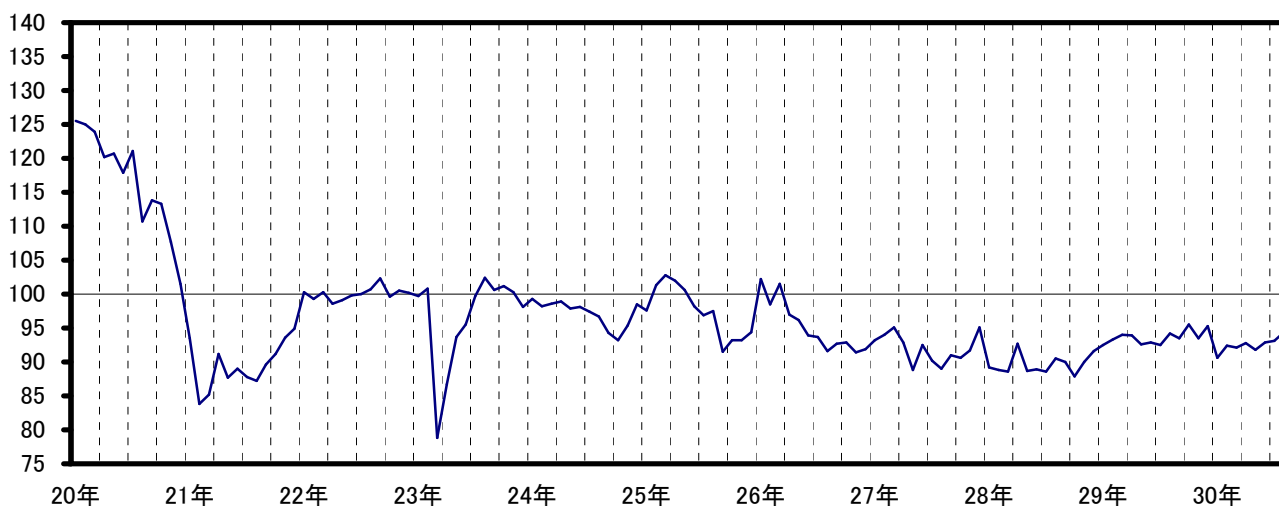
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

8月 = 124.9

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.8%増

*前年同月比(原指数) : 9.6%増

<概況>

8月の鋳工業在庫指数(総合)は124.9(季節調整済指数)で、前月比は1.8%増と、3か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は9.6%増と、11か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、電気機械(前年同月比12.8%減)が4か月連続、輸送機械(同12.7%減)が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同4.8%減)が14か月連続、食料品・たばこ(同1.0%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同10.2%増)が8か月連続、化学(同44.9%増)が15か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	118.2	123.9	125.3	123.8	126.1	123.7	122.7	124.9
前月比(%)	1.9	4.8	1.1	▲1.2	1.9	▲1.9	▲0.8	1.8
前年同月比(%)	4.8	4.9	8.1	7.1	10.2	6.1	7.5	9.6
(参考)全国前年同月比(%)	1.4	1.6	4.1	1.9	2.5	2.5	2.8	2.9

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.0	6.7	5.8	8.3	7.1	0.8	8.9	10.2
電気機械工業	10.6	7.9	▲3.2	4.9	▲1.4	▲14.0	▲10.7	▲12.8
輸送機械工業	9.2	▲5.7	▲7.8	▲13.7	▲11.6	▲26.8	▲18.4	▲12.7
化学工業	26.9	27.6	50.8	48.0	60.5	49.3	41.7	44.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.1	▲10.3	▲8.6	▲9.2	▲9.9	▲8.5	▲6.9	▲4.8
食料品・たばこ工業	9.7	11.8	2.8	3.0	0.4	▲7.5	▲5.8	▲1.0

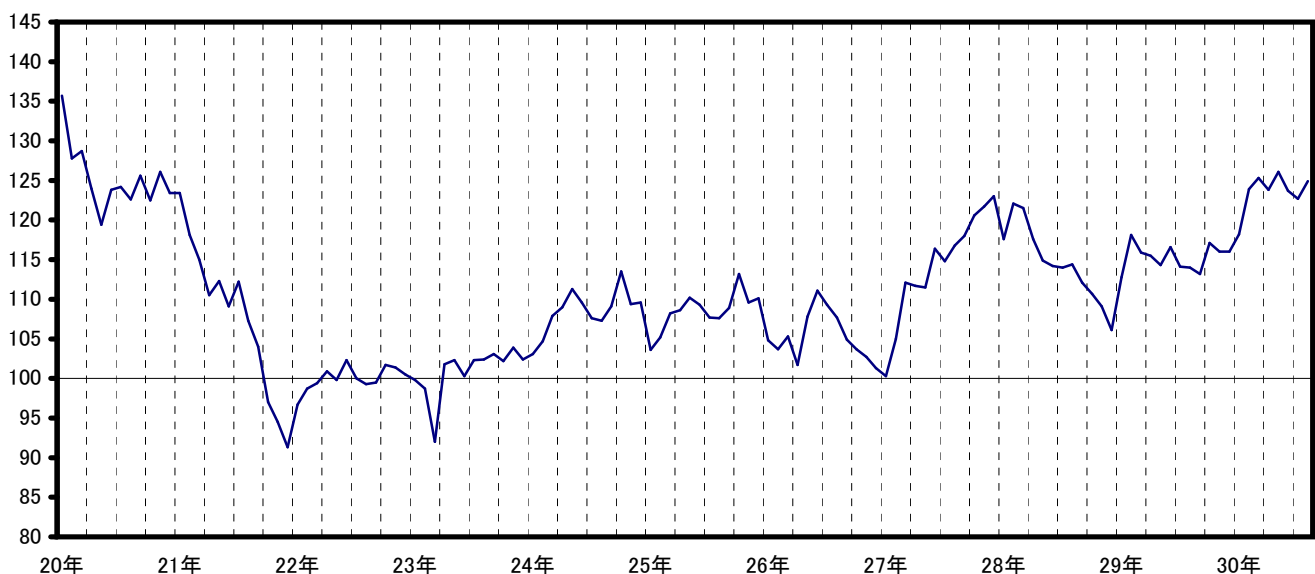
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

9 月 = 1.70倍

*前月比（季節調整値）：同水準

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

9月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.70倍となり、前月と同水準だった。また、19か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 9.1%減）は32か月ぶりに前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 10.4%減）が2か月連続、製造業（同 4.8%減）が35か月ぶり、情報通信業（同 11.4%減）、卸売業・小売業（同 9.1%減）がいずれも2か月ぶり、運輸業・郵便業（同 3.5%減）が23か月ぶり、医療・福祉（同 2.9%減）が4か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 18.1%減）が5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県	1.65	1.66	1.68	1.70	1.72	1.73	1.70	1.70
全 国	1.58	1.59	1.59	1.60	1.62	1.63	1.63	1.64

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	▲ 1.8	8.5	0.1	4.5	3.9	6.6	▲ 1.7	▲ 10.4
製 造 業	10.7	16.5	21.3	26.2	0.3	11.8	17.1	▲ 4.8
情 報 通 信 業	▲ 19.3	▲ 13.2	11.2	▲ 16.5	24.4	▲ 1.5	2.9	▲ 11.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	13.8	11.5	4.3	16.1	22.9	16.2	10.7	▲ 3.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 5.2	3.2	0.7	5.9	1.2	▲ 7.5	0.9	▲ 9.1
医 療 ・ 福 祉	8.7	5.1	3.1	4.0	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 4.2	▲ 2.9
サービス業（他に分類されないもの）	13.5	▲ 1.5	▲ 5.9	28.4	1.4	21.4	5.1	▲ 18.1
合 計	6.8	7.7	2.1	14.2	3.9	6.6	4.6	▲ 9.1

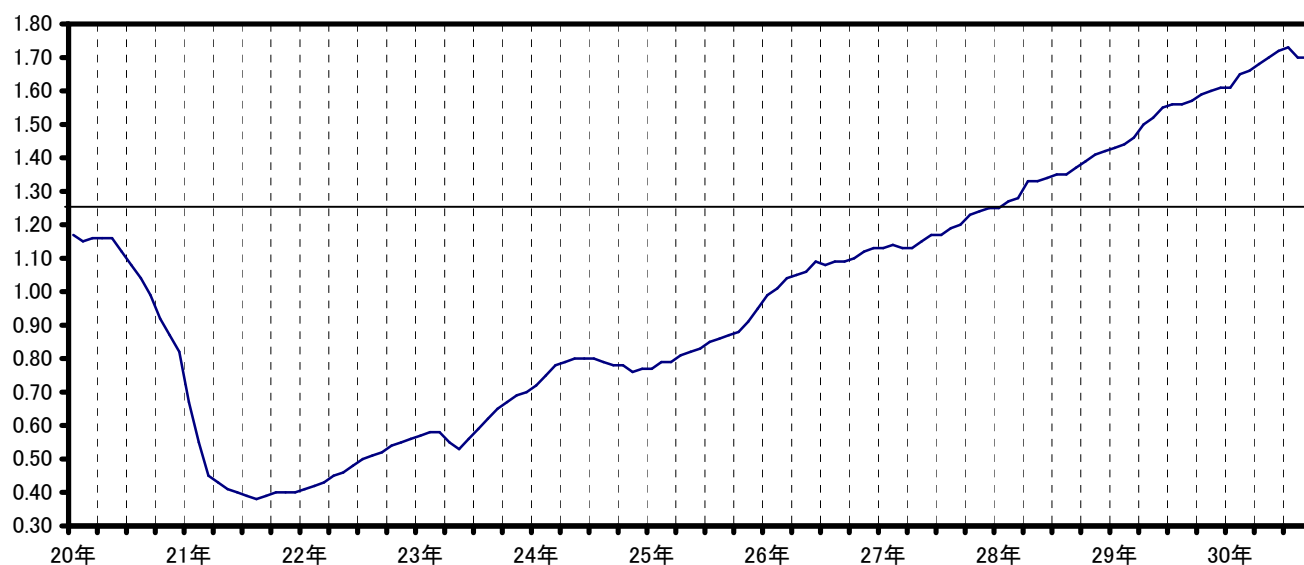
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 10,605人

*前月比: 7.0%減

*前年同月比: 5.6%減

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は10,605人で、前月比は7.0%減と、3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は5.6%減と62か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.3%で、前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(平成30年4~6月)の完全失業率は2.0%で、前期(30年1~3月)と同水準だった。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員(人)	9,629	9,460	9,236	10,839	10,513	10,974	11,407	10,605
前月比(%)	▲5.2	▲1.8	▲2.4	17.4	▲3.0	4.4	3.9	▲7.0
前年同月比(%)	▲5.3	▲5.7	▲3.1	▲0.5	▲4.6	▲1.1	▲3.7	▲5.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.4	▲6.5	▲3.5	▲0.9	▲5.2	▲0.3	▲2.3	▲1.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.5	2.5	2.2	2.4	2.5	2.4	2.3

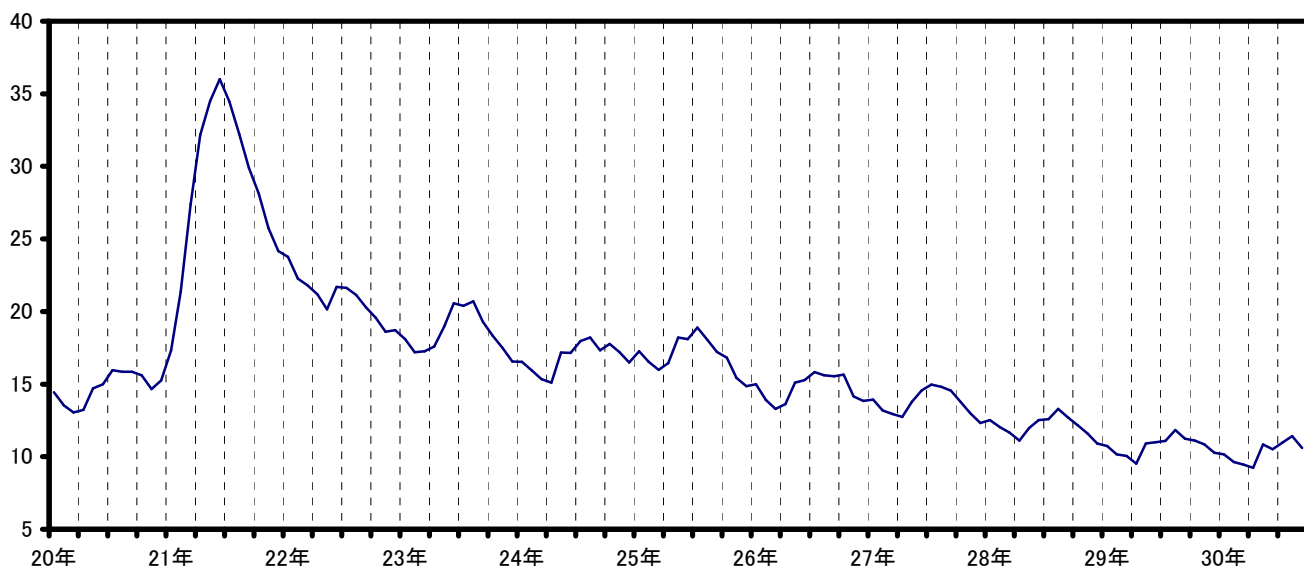
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

8月 = 98.0

*前月比(季節調整済指数): 0.2%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 3.8%減

<概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は98.0(季節調整済指数)で、前月比0.2%増となった。また、前年同月比(原指数)は3.8%減と9か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比105.0%増)が10か月連続、卸売業・小売業(同4.4%増)が2か月連続、その他のサービス業(同10.1%増)が8か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同53.1%減)が3か月連続、製造業(同1.7%減)が2か月ぶり、運輸業・郵便業(同7.7%減)が6か月連続、医療・福祉(同1.4%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	91.3	94.2	91.6	92.0	97.1	93.9	97.8	98.0
前月比(%)	▲7.7	3.2	▲2.8	0.4	5.5	▲3.3	4.2	0.2
前年同月比(%)	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.4	▲2.3	▲1.6	▲1.5	0.8	0.8	0.0	▲2.5

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	▲16.2	▲48.4	▲51.0	▲17.2	284.8	▲44.5	▲33.8	▲53.1
製造業	▲8.9	▲8.3	▲11.4	▲6.0	▲7.9	▲0.5	3.2	▲1.7
情報通信業	48.2	69.8	65.9	27.9	83.7	86.6	75.2	105.0
運輸業・郵便業	▲7.6	2.9	▲3.5	▲7.1	▲10.7	▲10.1	▲11.0	▲7.7
卸売業・小売業	19.0	28.0	19.0	26.8	▲7.1	▲10.9	9.2	4.4
医療・福祉	8.4	▲1.5	▲5.3	▲8.0	▲26.2	1.6	▲15.9	▲1.4
その他のサービス業	60.6	46.0	29.1	43.4	15.1	20.0	8.0	10.1
調査産業計	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8

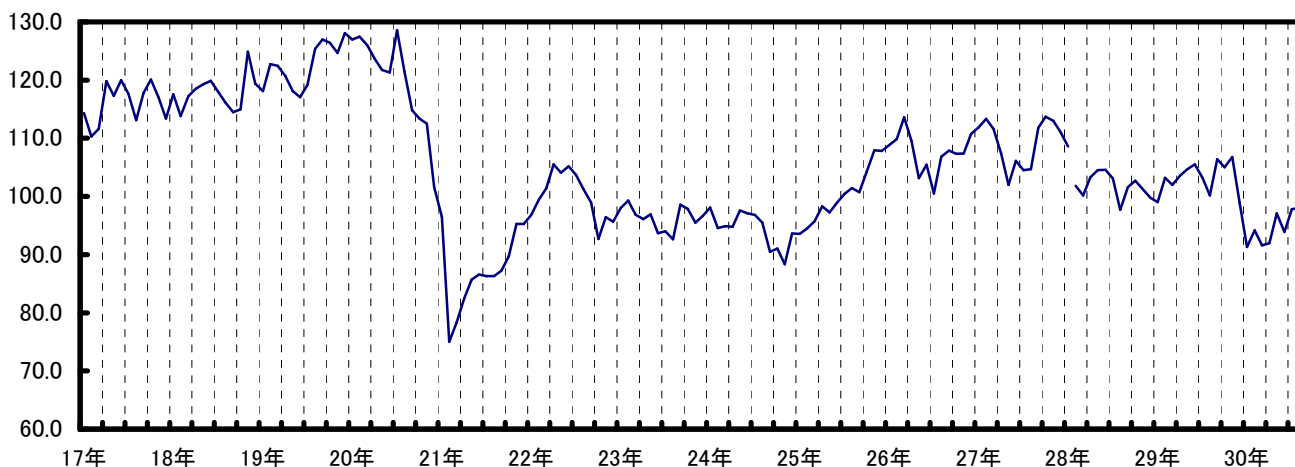
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

10月 = 102.3

(平成27年=100)

*前月比: 0.3%上昇

*前年同月比: 2.9%上昇

<概況>

10月の国内企業物価指数は102.3となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は2.9%の上昇となった。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	100.2	100.5	101.0	101.3	101.7	101.7	102.0	102.3
前月比 (%)	▲ 0.1	0.3	0.5	0.3	0.4	0.0	0.3	0.3
前年同月比 (%)	2.0	2.0	2.6	2.8	3.0	3.0	3.0	2.9

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 138,887億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.6%増

*前年同月比: 1.5%減

<概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,887億円と、前月比は0.6%の増加となった。また、前年同月比は1.5%の減少となった。

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	139,486	140,606	139,122	138,727	139,354	138,340	138,099	138,887
前月比 (%)	▲ 0.1	0.8	▲ 1.1	▲ 0.3	0.5	▲ 0.7	▲ 0.2	0.6
前年同月比 (%)	1.2	0.6	0.4	0.2	0.1	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.5

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

9月 = 1.977%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.022ポイント減

*前年同月差: 0.134ポイント減

<概況>

9月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.977%で、前月から0.022ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.134ポイントのマイナスとなった。

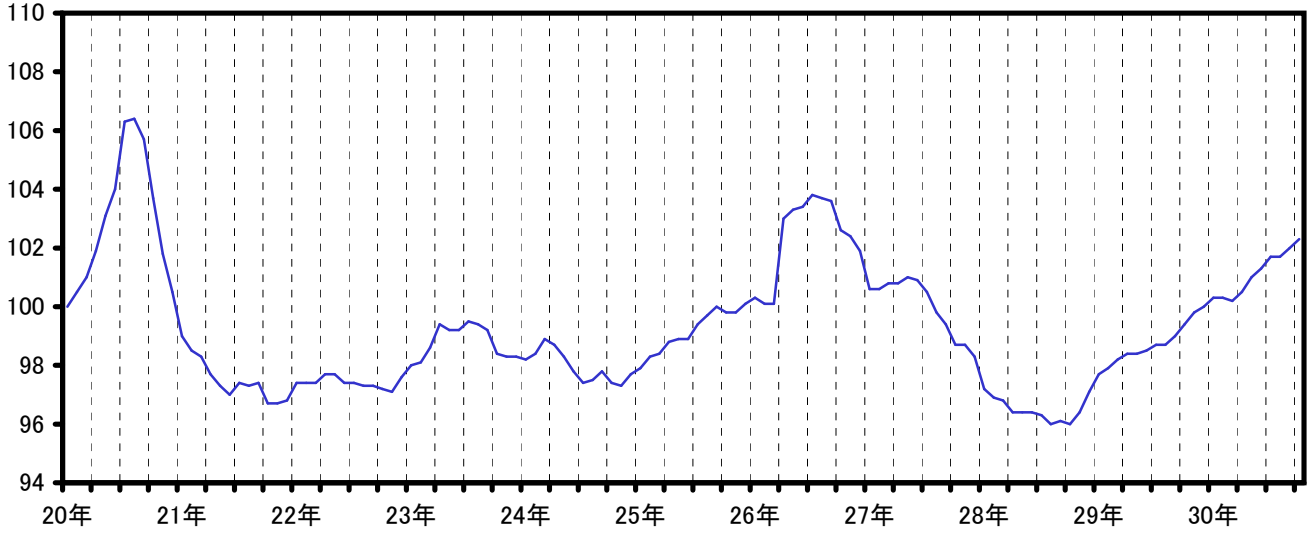
	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出約定金利 (%)	2.100	2.072	2.070	2.048	2.022	2.018	1.999	1.977
前月差(ポイント)	▲ 0.006	▲ 0.028	▲ 0.002	▲ 0.022	▲ 0.026	▲ 0.004	▲ 0.019	▲ 0.022
前年同月差(ポイント)	▲ 0.038	▲ 0.056	▲ 0.063	▲ 0.083	▲ 0.101	▲ 0.102	▲ 0.123	▲ 0.134

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

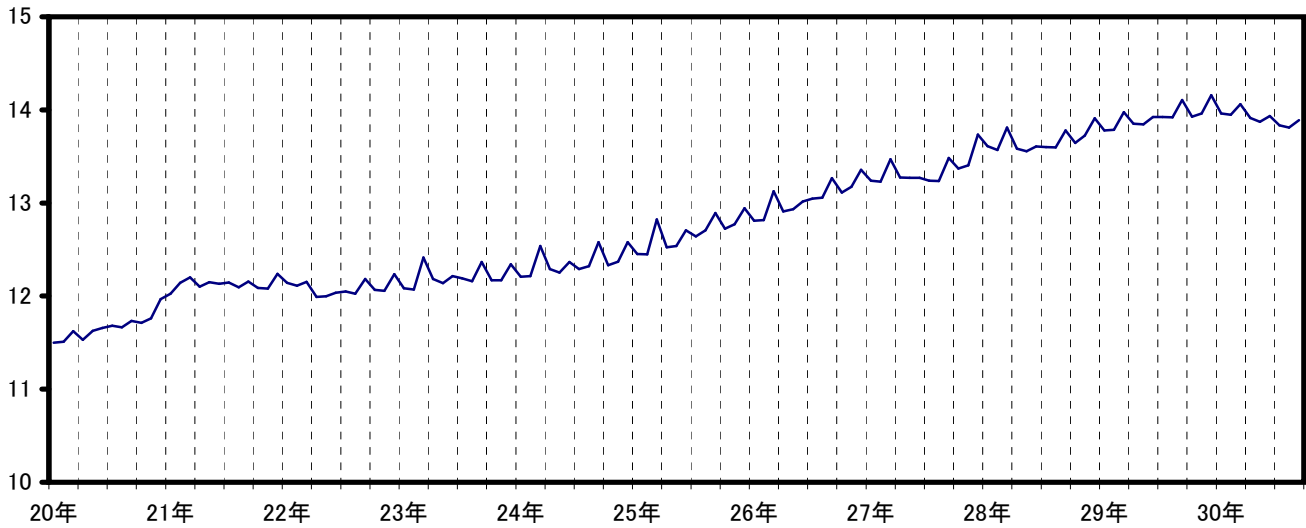
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



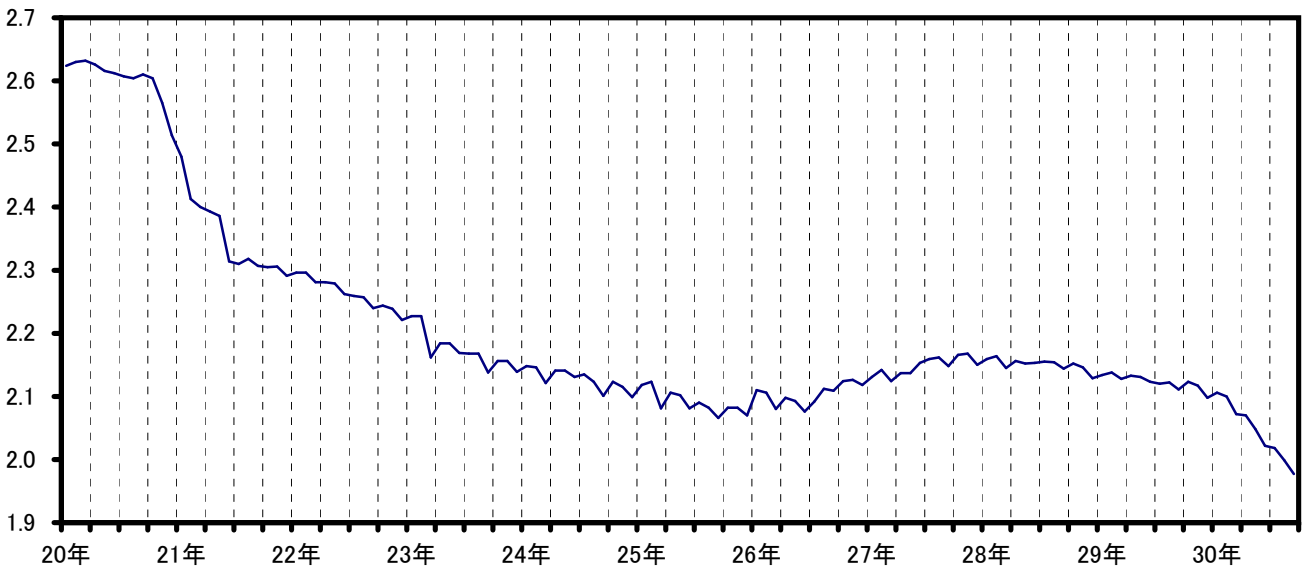
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**9月 = 18,648百万円**

*前年同月比： 3.5%減

<概況>

9月の保証承諾は、金額は18,648百万円（前年同月比 3.5%減）、件数は1,859件（同 7.5%減）と、いずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保証金額（百万円）	17,320	24,143	12,080	17,993	18,336	19,024	19,715	18,648
前年同月比（%）	▲ 4.7	▲ 7.3	3.3	27.2	▲ 4.9	9.3	8.7	▲ 3.5
保証件数（件）	1,824	2,314	1,421	1,786	1,958	1,920	1,989	1,859
前年同月比（%）	0.3	▲ 4.1	3.0	11.1	▲ 1.4	10.5	2.9	▲ 7.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**10月 = 112.78円/ドル**

*前月差： 0.89円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 0.18円高

<概況>

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は112.78円で、前月と比べて0.89円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場（円）	106.00	107.43	109.69	110.03	111.37	111.06	111.89	112.78
前月差（円）	▲ 1.82	1.43	2.26	0.34	1.34	▲ 0.31	0.83	0.89
前年同月差（円）	▲ 7.01	▲ 2.63	▲ 2.52	▲ 0.88	▲ 1.07	1.15	1.21	▲ 0.18

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****10月 = 20件**

*前年同月比： 13.0%減

<概況>

10月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は20件（前年同月比 13.0%減）と、前年実績を下回り、負債総額は3,587百万円（同 1.2%増）と、前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の75.0%を占め、251か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

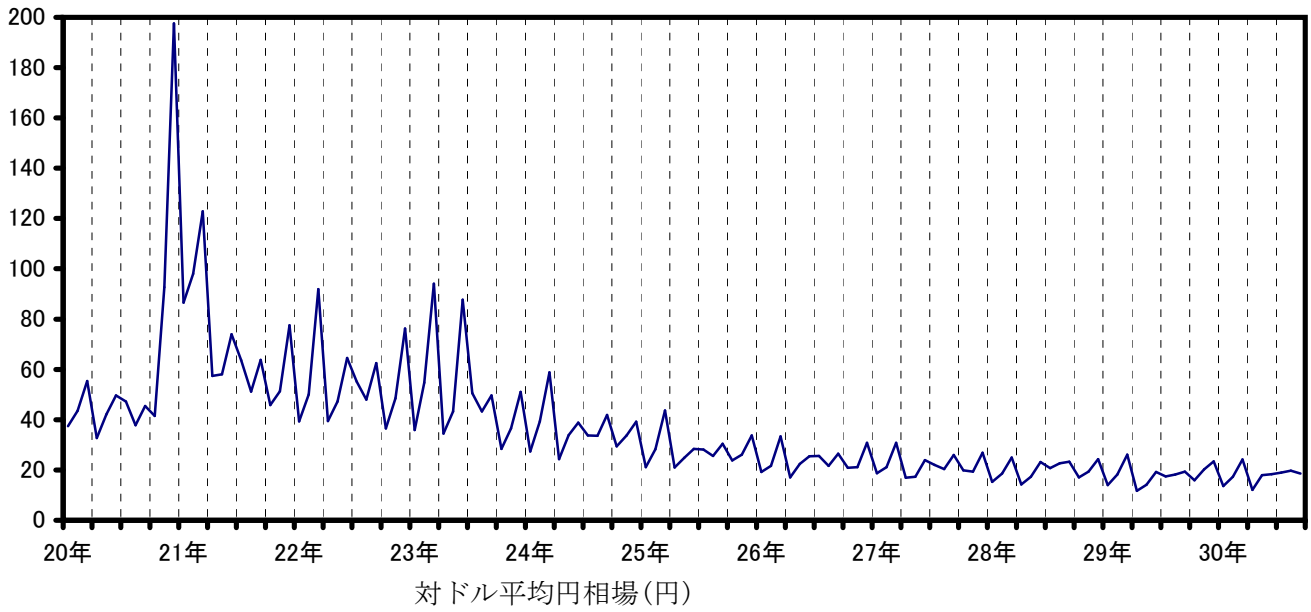
	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数（件）	26	12	24	27	16	22	10	20
前年同月比（%）	▲ 16.1	▲ 47.8	33.3	17.3	▲ 40.7	4.7	▲ 56.5	▲ 13.0
うち不況型倒産件数（件）	25	10	23	22	15	20	9	15
負債総額（百万円）	3,065	2,113	3,066	5,345	2,099	2,327	662	3,587
前年同月比（%）	▲ 57.7	▲ 68.0	31.1	81.8	▲ 33.5	38.5	▲ 57.5	1.2

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

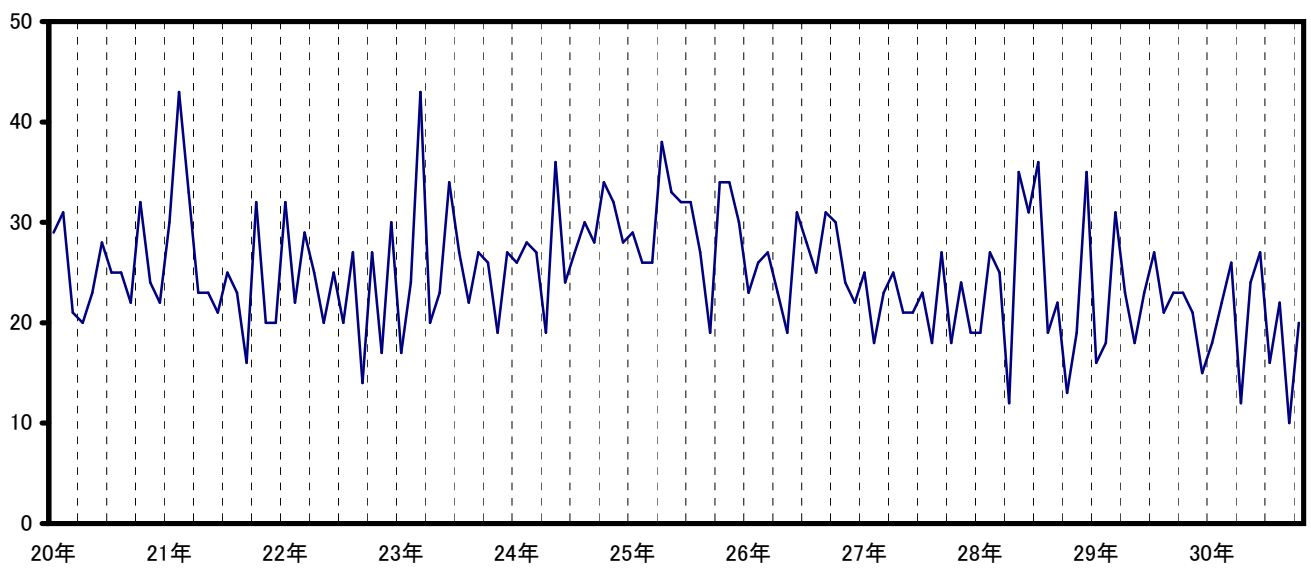
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>8月の国内二輪車生産台数は、38,536台（前年同月比 4.8%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,643台（同 21.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,772台（同 58.2%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,336台（同 16.8%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、19,785台（同 17.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、25,573台（同 9.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、29,937台（同 10.6%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>8月の自動車国内生産台数は、693,977台（前年同月比 0.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。輸出は371,612台（同 3.4%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが7か月ぶり、乗用車が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は458億円（前年同月比 6.4%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は354千台（同 2.8%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは557千台（同 12.5%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。業務用は70千台（同 2.2%減）と、18か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>8月の携帯電話の国内出荷台数は、1,157千台（同 4.9%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、799千台（同 8.3%増）と、8か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 69.1%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、1,534億5,400万円（前年同月比 2.9%増）と、22か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は890億4,200万円（同 1.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。アジア向けが349億2,600万円（同 8.9%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。内需は644億1,200万円（同 5.6%増）と、20か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「工場プラントの設備関連の引き合いが多くなっている」という声や「燃料の高騰が響いてきている」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、44億9,193万円（前年同月比 6.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億4,090万円（同 7.1%減）、国内向けが18億5,104万円（同 4.8%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,634台（同 6.7%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,721台（同 9.2%減）、グランドピアノが913台（同 1.5%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,329台（同 11.3%増）、国内向けが865台（同 6.6%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、1,990千ト（前年同月比 5.1%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,072千ト（同 6.0%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。板紙は918千ト（同 4.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、607千ト（同 5.9%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、144千ト（同 3.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った*1。</p> <p>*1 8月実績が「2か月連続で前年実績を上回った（速報値）」から、「2か月ぶりに前年実績を下回った（確報値）」に訂正されたため。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類が国内向け943千箱（前年同月比 2.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は681千箱（同 0.6%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は515千箱（同 1.9%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は262千箱（同 6.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,774千箱（同 7.6%増）と、13か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、1,344千㎡（前年同月比 4.7%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,282千㎡（同 6.0%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、62千㎡（同 31.9%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、27千㎡（同 12.9%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、47億2,624万円（前年同月比 1.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、468億3,041万円（同 2.2%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>9月の県内百貨店・スーパーの販売額は32,358百万円と、前年実績を上回った。品目別に見ると、「飲食料品」、「その他の商品」の販売額は前年実績を上回ったものの、「衣料品」、「身の回り品」、「家庭用品」、「食堂・喫茶」は前年実績を下回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、暑さや台風により野菜の相場が高く、青果部門の売上が前年を上回った。また、中部の総合スーパーへの聞き取りでは、台風対策として食料品がよく売れていた。中部の百貨店への聞き取りでは、寒い日が続いたため、婦人服が持ち直していた。</p> <p>9月の静岡市葵区のある商店街では、店主が専門知識や特技を生かし、店頭などでミニ講座を企画する「プロと楽しむお街ゼミな〜る」を開催した。商店街と各店の魅力を広く市民に発信するために開催されている本事業は、今年で8回目の開催となり、オリジナルキーホルダー作り教室やマッサージ講座、メガネケースへのペインティング講座など加盟店約40店舗が、計50講座を展開した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約35万人と、前年同月比9.5%減だった。</p> <p>台風の影響により、週末に休園や営業時間の短縮を行った施設があり、来場者数が減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約68万台と、前年同月に比べて4.1%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	13,173	20,900	19,397	16,231	14,242	15,413	12,784	10,823	21,457
前年同月比(%)	▲ 31.3	▲ 5.3	▲ 30.2	▲ 25.2	▲ 26.9	▲ 10.9	▲ 14.7	▲ 32.8	44.1
KD輸出額(百万円)	539	650	515	752	574	570	589	624	709
前年同月比(%)	▲ 24.3	▲ 7.8	▲ 20.9	10.6	▲ 9.7	▲ 20.1	▲ 23.7	8.5	43.0

<楽器>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	2,534	2,905	3,072	3,111	2,565	3,178	3,187	2,767	2,768
前年同月比(%)	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 17.5	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 14.8	▲ 5.0	▲ 5.7	▲ 10.1

<缶詰>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	806	878	1,007	946	960	963	996	966	943
前年同月比(%)	▲ 2.4	1.4	1.1	▲ 2.0	8.1	▲ 3.6	3.1	▲ 0.9	▲ 2.2
うち水産缶詰(%)	▲ 4.2	▲ 0.5	▲ 5.2	▲ 5.8	0.1	▲ 5.0	5.7	6.8	▲ 0.6
農畜産缶詰(%)	2.0	5.5	15.7	7.1	31.1	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 16.4	▲ 6.3
飲料缶生産高(千ケース)	4,694	5,196	6,952	6,871	8,024	7,394	7,139	7,407	6,774
前年同月比(%)	▲ 4.9	▲ 9.8	▲ 4.2	▲ 15.7	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 14.8	▲ 3.2	7.6

<繊維>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千㎡)	1,515	1,333	1,332	1,274	1,176	1,177	1,137	1,149	1,344
前年同月比(%)	▲ 3.1	▲ 3.3	0.8	▲ 4.8	0.5	3.5	1.5	3.5	▲ 4.7
小幅織物(千㎡)	32	35	34	31	30	28	27	24	27
前年同月比(%)	▲ 3.8	▲ 0.5	1.4	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 4.6	▲ 0.1	▲ 4.3	▲ 12.9

<観光>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
観光施設(10施設)入込 (千人)	287	263	512	515	536	302	287	531	354
前年同月比(%)	▲ 0.2	▲ 1.7	5.9	1.5	▲ 15.9	▲ 17.5	▲ 14.2	▲ 5.7	▲ 9.5
有料道路(5路線)通行量 (千台)	639	625	783	699	719	656	752	890	675
前年同月比(%)	▲ 5.7	▲ 9.2	0.7	▲ 0.1	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 2.9	0.8	▲ 4.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年11月号 通巻511号

発行 静岡県経済産業部
平成30年11月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>